

市民総活躍予算 住み続けたい、住んでみたくなるまちへ前進!

平成29年度の重点事業をお知らせします

子育て・教育を応援

子どもの成長を切れ目なく支援するとともに、教育環境の充実と質の向上を図ります。

母子保健コーディネーターを配置

484万5千円

妊娠期から子育て期までの母子の健康管理や予防接種などの相談、保健・子育てサービスの紹介ができる体制を整えます。

中学校の普通教室にエアコンを設置

2億3,815万5千円(平成28年度予算(繰越明許))

生徒が健康を維持し、集中して学習できる環境を整えるため、中学校の普通教室に空調設備を整備します。

スクールソーシャルワーカーを各中学校区に配置

528万円

いじめ・不登校事案などで、これまで相談が難しかった家庭環境や社会環境が複雑な事案に対して早期対応・解決につなげます。



小規模保育事業所(2カ所)の開設

4,708万3千円

待機児童対策として、3歳未満児の定員を拡充するため、小規模保育事業所を開設します。



みんながいきいき

子どもから高齢者まで、誰もがいきいきと暮らせるよう、地域での助け合いの仕組みを作り、健康のまちづくりを進めます。

介護予防事業を充実・強化

636万8千円

認知症に関するボランティア養成などにより、みんなで支える地域づくりを進めるほか、既存の健康づくり事業と連携して、介護予防を推進します。

地域防犯パトロール活動費補助金を新設

57万円

青色回転灯装備車を使用して防犯パトロール活動を実施している団体に対して、活動費の一部を補助し、地域防犯活動を支援します。

あさひ健康マイスターの見直し*

66万3千円

対象事業を増やし、市民団体などへの参加にもポイントを付与するほか、これまで通り達成者を表彰します。

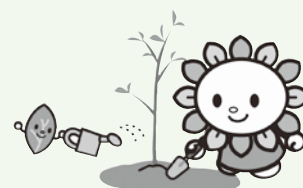
※詳細はP6



全国植樹祭あさひサポーターの募集

19万円

市民の皆さんとともに植樹祭の開催機運を盛り上げるため、関連事業に参加や協力をする全国植樹祭あさひサポーターを募集します。



誰もが安心

安全で安心なまちづくりのため、地域医療や防災・減災対策、交通安全・防犯対策の推進を図ります。

指定避難所(2カ所)にマンホールトイレを設置

1,801万2千円

指定避難所である小・中学校にマンホールトイレを計画的に設置し、下水道本管へ直接つなぐことで災害時のトイレ機能を確保します。

「子ども版 防災手帳」の作成・配布

26万9千円

災害発生時の注意事項を親子で話し合い、家庭のルールを作成・記入できる「子ども版 防災手帳」を作成し、小学生に配布します。

瀬戸市と共同で休日急病診療所を開設

2,731万6千円

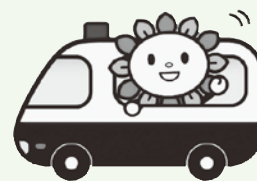
第1次救急医療体制の継続と定点化による利便性向上を図るため、瀬戸市と共同で休日急病診療所を開設します。



パトカー色の交通防犯啓発車両を購入

260万円

昨年の市長を囲む子ども会議に参加した児童からの提案をもとに、パトカー色の交通防犯啓発車両を購入します。



まちも輝く

計画的な都市基盤の整備とその適切な維持管理を行い、住環境の質の向上と都市交通基盤の充実を図り、市の魅力を高めるまちづくりを進めます。

霞ヶ丘線の整備工事に着手

1億5,000万円

本市の重要な幹線道路である霞ヶ丘線を整備し、広域移動の円滑化や児童の通学路の安全確保、主要幹線道路の渋滞解消を図ります。また、全国植樹祭会場(県森林公園)へのアクセス環境が向上します。

旧市民会館を解体する準備に着手

350万円

市公共施設等総合管理計画の推進と尾張旭駅前周辺の活性化のため、旧市民会館の解体・撤去の実施設計を行います。なお、当面は駐車場として跡地を利用します。

マメナシ・アイナシの自生地を調査

50万円

ふるさと納税を活用して、市の天然記念物に指定されている長池のマメナシ・アイナシ自生地を保護・育成するために専門家に診断を委託します。



旭前駅のバリアフリー化工事を実施

1億1,000万円

北側駅舎、改札、北側スロープ、南側スロープなどを、鉄道事業者と連携して整備し、旭前駅のバリアフリー化工事を実施します。



当初予算の詳細はホームページをご覧ください。

なお、会話形式で分かりやすく予算を説明した「教えて 市の予算」も公開しています。

尾張旭市 財政

検索

